

東日本大震災発生から7ヶ月 CIVIC FORCE の 活動報告

震災から7ヶ月、求められる越冬支援

2011年3月11日の震災から7ヶ月が経ちました。Civic Forceの活動拠点の一つである宮城県気仙沼市では、10月に気仙沼市が市民に向けて今後のまちづくりに関する話し合いの場を設けるなど、復興に向けた取り組みが徐々に始まっています。一方、市内を見渡すと、震災時の状況からまったく手がつけられず、斜めに傾いた家屋がそのまま残されていたり、水没したままになってしまっている場所も少なからず残っています。東北地方では、9月末現在、すでに朝晩の気温が氷点下まで下がる地域もあり、仮設住宅で過ごす被災者に向けて、今後は越冬支援が課題の一つとなっています。

企業ボランティア事業

Civic Forceでは、グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークが実施する「東日本大震災復興コレクティブ・アクション」との連携により、社員ボランティア派遣プログラムを、9月4日から毎週3回、5泊6日の日程で気仙沼大島で実施しています。

9月は富士ゼロックス、JSR、朝日新聞などの社員が、ボランティア休暇制度などを利用して参加し、十数名が気仙沼大島で活動しました。

具体的な活動内容として、9月時点では瓦礫撤去や清掃、瓦礫から出てきた写真の洗浄などの作業



を行い、元の持ち主にお渡しする活動を実施しました。今後は参加企業数を増やし、毎週30名前後のボランティアを派遣する予定です。作業するだけでなく、島内を視察し、



地元の人や災害対策本部の担当者から話を聞くプログラムを通じて、より被災地域への理解を深めてもらうことも心がけています。参加者の意見も参考にしつつ今後の復興支援のニーズを考えながら、長期的に有効な支援を続けていく予定です。Civic Forceは気仙沼大島に現地調整のためのスタッフを駐在させ、今後も企業との連携による復興支援活動を継続していきます。



気仙沼大島のカーフェリー事業

3,000人以上が暮らす東北地方最大級の宮城県気仙沼市の有人離島「大島」で、津波の影響により、陸に乗り上げていた306トンの大型カーフェリー「フェリー亀山」が、海に戻されました。運航再開のためには点検や修理など、まだまだ時間がかかりますが、復興に向けた第一歩を歩み始めることができました。

離島「大島」と本土を結ぶ航路では、今年4月から広島県江田島市にあった397トンのフェリー「ドリームのうみ」が島民の足として大活躍しています。

このフェリーは、当時ちょうど廃航になった船体で、Civic Forceの仲介支援により、地元のフェリー運航会社である大島汽船が江田島市からチャーター費無料で借り受けて運航しているものです。この貸与契約期間が10月で終了するのを前に、江田島市に現状を報告したところ、被災地では瓦礫の搬出などで大型車両の利用が多く、「ドリームのうみ」が復興に果たしている役割が大きいとして江田島市は貸し出し期間を来年3月15日まで延長することを決定しました。

今日も「ドリームのうみ」は江田島市の旗とCivic Forceの旗をなびかせながら、「フェリー亀山」の帰りを待ちつつ、毎日8往復、約1100名の乗客と220台の車両を運んでいます。

活動報告：パートナーと連携して行う事業

Civic Forceは、被災地における多様なニーズに対し、専門性をもって応えることができるパートナー団体と連携して、岩手県・宮城県・福島県・山形県で広域に社会的サービスを提供しています。拠出する際には、拠出先の組織と事業内容を外部専門家と精査し、毎月の報告を求めるほか、Civic Forceが外部専門家とともに現地に赴きモニタリングをしています。第1期では8事業（うち6事業終了）、第2期では7事業（うち2事業終了）、

第3期では2事業（うち1事業終了）と連携して、協働事業を行っています。

— 第II期事業 —

■みんなのことは×Civic Force

4つの楽器を奏でる演奏者とともに、聴く側も一緒に歌ったり、演奏に参加できるプログラムを実施する、みんなのことは、被災地で生演奏のクラシックコンサートを届ける活動を行っています。9月は石巻、東松島、塩釜、名取、亶理、相馬市の保育所や介護施設を訪問して新たなコンサートを企画しました。

石巻の保育所では楽器が津波により流されてしまったため、新品のカスタネット150個を調達し、10月実施するコンサートの際に寄付する予定です。



■オン・ザ・ロード×Civic Force

4月から石巻市のボランティア派遣事業を行ってきたオン・ザ・ロード。7月からは生活再建支援に力点を置いたフェーズ2を開始し、9月末までに、避難所から仮設住宅への移転に伴う引越し・運搬サポートを実施しました。

また、店舗経営再開への支援として、被災した店舗の営業再開に向けて、店内清掃や内装のリニューアル補助などを専門分野（整備班・清掃班・デザイン班）に分かれて対応しました。

さらに、石巻が復興していく様子や生活に役立つ便利な情報などを共有できるように、隔週でフリーペーパー『石巻元気だより』を作成し、無料で

配布しました。



■難民支援協会×Civic Force

岩手県陸前高田市を中心に、難民ボランティアの派遣、女性や外国人など



弱い立場に置かれやすいグループへの支援を行っています。夏休み以降ボランティアの数が増加する中で、難民の参加者も増えるとともに(約30%)、参加者の出身国数も多様化してきました。継続的に一定数のボランティアを派遣し続けることにより、地元からの信頼も厚くなっています。また、女性キットを配布する活動は地域のコミュニティへ引き継がれる形で、住民組織化支援にも貢献しています。

■災害看護支援機構×Civic Force

被災者の心と体の健康維持を目的に、5月から災害看護の専門家を避難所、仮設住宅、障害者施設へ派遣し、被災者の医療・看護・介護や心のケア、生活支援などを行う活動を続けてきました。9月末の活動終了時点で派遣した専門家は計174名にのぼり、泊り込みの看護、イベントなどを通して被災者の方が何でも相談できる関係を築きあげてきました。例えば、知的障害者施設であるハマナ

ス学園では、災害時に支援を必要とする被災者への災害看護に関する研修会も開催しました。



—第三期事業—

■SONERS×Civic Force

9月23日から25日までの3日間、神奈川県大磯ロングビーチで、気仙沼市から招待した21名の小中学生を含む述べ107名に対して、サバイバル・セルフレスキュー(SSR)の講習会を実施しました。SSRとは、水害に直面した際に自らの命を守り最悪の状況を回避する技法のひとつ。Civic ForceのパートナーであるNPO法人「森は海の恋人」を中心に、着衣泳や障害物の回避方法、基礎的な救助方法などの講習を行い、参加者たちは実践を通して初歩レベルのSSR技法を身に付けました。また、大磯の地元自治体関係者も視察に訪れ、防災への取り組みの重要性について、認識を深めることができました。



■気仙沼復興協会(KRA)×Civic Force

仮設住宅住民の孤立化を防ぎ、自立を促進する地域コミュニティづくりを目的として気仙沼市内の約50ヶ所の仮設住宅の見守りを行っています。自身も被災者である復興協会スタッフが、各仮設住宅でお茶会の開催や住民が企画したイベントの運営補助を行い、被災体験と将来の希望の共有を

通じた被災者間の絆の再生と新たな地域コミュニティづくりを支援することで、気仙沼地域の一日も早い復興を目指しています。



寄付金執行状況と執行計画のご案内

9月末時点で、合計約11億900万円のご寄付をいただいています。

9月末日現在の執行済み確定金額をご報告申し上げます。金額は暫定・速報値です。

事業	金額
緊急支援物資の調達・配送	2億2,936万円
生活改善のための風呂設営	1,879万円
離島へのカーフェリー就航	1,919万円
パートナー協働事業	1億829万円
多目的・稼働型拠点の提供	6,538万円
復興支援事業	2,216万円
ボランティア受入用テント	3,688万円
事業共通の諸経費*	4,459万円
合計：	5億4,464万円

* 資金調達に関連する費用含む

寄付金の執行においては、都度理事会で承認しているほか、監事により適正な意思決定と会計業務が行われていることを確認しています。

お知らせ：マンスリーサポーター募金、開始しました

Civic Force では、東日本大震災での経験を活かし、さらに幅広く機動力のある支援ネットワークを構築していきたいと考えています。

次の災害に備えて、行政のほか、国内大手企業や専門性ある NGO と、精力的に協議・準備を進める必要があります。災害支援は、日ごろからの備えが、スピードと規模、支援品質に大きな影響を与えることが、今回の大震災でも分かりました。

平時からの備えのためにも、「市民の力 (= Civic Force)」をお貸しください。マンスリーサポーターとして、毎月定額をご寄付いただく形で、大規模災害への備えに必要な活動経費を支えていただきたく、お願いします。

災害、特に地震はいつ、どこで起きるか、分かりません。いまから次なる災害に備え、日本のどこで地震が起きても、今回よりさらに効果的で効率のよい支援活動が展開できるようご協力いただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。



※Civic Force ホームページ

(<http://civic-force.org/>) から「オンライン募金」をクリックしてください。

※毎月11日前後に発行しているマンスリー・レポートは、<http://civic-force.org/news/monthly/> からご覧いただけます。ホームページやtwitterでは最新の活動状況や現地の様子を報告しています。また You Tube で特別動画の配信を、facebook で英語の情報発信をしています。

twitter @civicforce

facebook <http://www.facebook.com/civicforce>

YouTube <http://www.youtube.com/user/civicforceorg>